

昭和53年度落葉果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和53年度落葉果樹関係委託試験成績検討会は、昭和54年2月5日(月)、農林水産省果樹試験場(茨城県筑波郡谷田部町)において、試験場関係者および委託関係者88名参集のもとに開催された。

当検討会では、昭和52年度秋処理を含めて、除草剤5薬剤合計27点、生育調節剤18薬剤合計83点について、各試験場担当者の報告、その質疑応答ならびに慎重な検討がなされた。

その判定結果は、次のとおりである。

昭和53年度 落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験薬剤および判定表

A 除 草 剤

作物名	薬剤名 ・種類名 ○商品名	剤型	有効成分および 含有率	委託者名 (会社)	担当場所	試験の種類;処理方法; 処理時期;散布薬量	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
1. ブドウ	(1)MON-39 ●グリホセート ○ラウンドアップ	液剤	N-(ホスホノ メチル)グリニ ン イソプロピ ルアミン塩 41.0%	日 本 モンサント	山梨果試、長野 農総試中信地方 試、大阪農技セ ンター、福岡園 試、 〔薬害〕 山形砂丘地農試、 山梨果試。	①適用性試験 多年生雑草(処理薬 量の拡大);雑草茎 葉、スポット処理; 春季、夏季多年生雑 草生育最盛期;50. 100ml/a(5~10l /a). ②薬害試験 土壌吸収害(2年運 用);土壌処理;春、 夏2回連用(2倍量)、 春または夏1回(5 倍量);200ml(2 倍),500ml(5倍) /10a.	※ 新 実 ・ 継	(※)一年生雑草対象 では50年度以前に 実・継の判定あり) 実:〔多年生雑草 (ヨモギ・ギン ギン・タンポポ・ チガヤ・ススキ・ ササ等)〕 雑草繁茂時、500 ~1000ml(水50 ~100l)/10a, スポット雑草茎 葉処理。 継:薬害の検討、草 種の拡大。
	(2)OK-622 ●バロコート ○	液剤	1,1'-ジメチル -4,4'-ビビリ ジウム ジクロ リド 24%	大塚化学 薬 品	山形砂丘地農試、 長野農総試中信 地方試、山梨果 試、大阪農技セ ンター、 〔薬害〕 山形砂丘地農試、 山梨果試。	①適用性試験 ブドウ園での薬効確 認;雑草茎葉処理; 春季、夏季雑草生育 期;20,30ml/a (15l/a). ②薬害試験 土壌処理;春(5月)、 夏(7月)2回連用 (2倍量)、春1回 (5倍量);60ml	継 実	実:〔1年生雑草〕 春・夏雑草生育期、 200~300ml(水 150l)/10a, 雑 草茎葉処理(但し 雑草草高30cm以 下)。

作物名	薬剤名 ●種類名 ○商品名	剤型	有効成分および 含有率	委託者名 (会社)	担当場所	試験の種類; 処理方法; 処理時期; 散布薬量	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
1. ブドウ (つづき)	(2)OK-622 (つづき)					(2倍), 150ml(5倍)/a.		
2. ナシ	(1)OK-622 ●パラコート ○	液剤	1,1'-ジメチル -4,4'-ビピリジ ウムジクロリド 24%	大塚化学 薬品	茨城園試, 神奈 川園試, 長野農 総試南信地方試, 新潟園試, 鳥取 果試.	①適用性試験 ブドウ園での薬効確 認: 雑草茎葉処理; 春期, 夏期雑草生育 期: 20, 30ml/a (15l/a). ②薬害試験 土壌処理: 春(5月), 夏(7月)2回連用 (2倍量); 春1回 (5倍量); 60ml (2倍), 150ml (5倍)/a.	継 実	実: [1年生雑草] 春・夏雑草生育期, 200~300ml(水 150l)/10a, 雑 草茎葉処理. (但し雑草々高30 cm以下)
	(2)MCP・ DCMU・ DPA ●MCP・ DCMU・ DPA ○ボミカルDM	水和 剤	MCP: 2-メ チル-4-ク ロルフェノキ ン酢酸 13.5% DCMU: 3- (3,4-ジク ロルフェニル)- 1,1-ジメ チル尿素 15.0% DPA: 2,2- ジクロロプロ ピオン酸ナト リウム 45.0%	石原産業	茨城園試, 栃木 農試, 長野農総 試南信地方試, 新潟園試, 鳥取 果試 〔薬害〕 長野農総試南信 地方試, 鳥取果 試.	①適用性試験 下草刈取代用性; 雑 草茎葉処理: 春季, 夏季雑草生育期(草 高30cm以下); 100, 150g/a. ②薬害試験 土壌処理: 春, 夏2 回連用(2倍量); 春または夏1回(5 倍量); 300g(2 倍), 750g(5倍)/a.	新 実・ 継	実: [1年生雑草] 春・夏生育期(草 高30cm以下), 1~1.5kg(水150 l)/10a, 雑草茎 葉処理. 継: 薬害試験, 草種 拡大.
3. ブドウ (但S52 秋~冬処理)	(1)DBN ●DBN ○カソロン	粒剤	2,6-ジクロロ ベンゾニトリル 6.7%	兼商 北興化学 工業	青森畑作園試, 山梨果試, 岡山 農試, 福岡園試.	適用性試験 秋~冬スポット処理 による多年生広葉雑 草防除: 土壌, スポ ット処理; 秋~冬積 雪前: 5, 6, 8g/m ² .	継 実	実: [多年生広葉雑 草] 落葉期間中, 5~ 6kg/10a, スポ ット土壌処理. 注) 生育期間中お よびハウス内では 使用しない.

B 生育調節剤

1. ブドウ	(1)CaCO ₃ ●炭酸カルシ ウム剤 (生長調整剤) ○クレフノン	水和 剤	CaCO ₃ (炭酸カ ルシウム) 95% 湿展剤等 5%	白石カル シウム	果試安芸津支場, 福岡園試.	基礎試験 果実の品質向上; 立 木全面茎葉散布; 処 理時期等一任; 50~ 100倍液.	継 継	●効果の確認, 汚れ の回避(袋かけで やる).
--------	--	---------	---	-------------	-------------------	---	--------	--------------------------------

作物名	薬剤名 ●種類名 ○商品名	剤型	有効成分および 含有率	委託者名 (会社)	担当場所	試験の種類;処理方法; 処理時期;散布薬量	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
〔デラウェア〕	(2)KWG-81 ●ジベレリン剤 ○	ペースト	ジベレリンA ₃ など 2.7%	協和醸酵 工業	山形園試, 山梨 果試, 大阪農技 センター.	適用性試験 無核化熟期促進く慣 行法に対して, ペー スト剤1回処理によ る省力化); 果硬部 塗布(副糖を取除い た部分に塗布); 満 開14, 16, 18日前; 15~20 mg/果房.	新 継	・効果の安定化, 果 梗の硬化および脱 粒の軽減.
〔巨峰〕	(3)ACP-68- 250 ●エチレン剤 ○エスレル10	液剤	2-クロロエチ ルホスホン酸 10%	2,4-D 協 議 会	山梨果試, 愛知 農総試園研, 岡 山農試, 福岡園 試, 大分農技セ ンター.	適用性試験 赤熟防止(着色促進); 茎葉全面散布; 着色 中期; 100, 150, 200 ppm.	継 継	・濃度・処理時期の 検討. ・脱粒・日持ちの改 善.
〔巨峰〕	(4)PCPA+GA ₃ ●4-CPA+ ジベレリン ○トマトーソ +ジベレリン	液剤 +水溶 剤	PCPA: 4-ク ロロフェノキ ン酢酸 0.15% GA ₃ : ジベレ リンA ₃ 0.31%	2,4-D 協 議 会 〔協和醸 酵工業〕	山形園試, 栃木 農試, 神奈川園 試, 山梨果試, 長野農総試 中 信地方試, 岡山 農試.	適用性試験 無核果形成; 花房浸 漬; 開花始め3~5 日前(および満開10 日後); PCPA: 100, 150倍. GA ₃ : 25 ppm.	継 実・ 継	実: 開花始め3~5 日前PCPA 15ppm および満開10日後 GA ₃ 25ppm (体 系) 花果房浸漬処 理. 継: 第1回目のPC PAとGAの混用 効果(第2回も含 め), 硬化, 脱粒 の検討.
〔マスカット ベリーA〕	(5)BA ●ベンジルアデ ニン ○ビーエー	液剤	N ⁶ -ベンジルア ミノプリン 3%	クミアイ 化学工業	〔露地〕兵庫農 総センター, 岡 山農試, 広島果 試, 福岡園試, 〔施設〕兵庫農 総センター, 福 岡園試.	適用性試験 花振い防止; 浸漬処 理; 満開10~15日 前; 100, 150, 200 ppm (GA 100ppmと 併用); 後処理はG A単用.	継 実・ 継	実: 〔ハウスを除く 栽培法〕 第1回目GA処理 適期1~3日前100 ppm(簡易被覆) ~150ppm(露地) GA液へ添加し花 房浸漬処理. 〔第2回目後処理 は, 満開10日後 頃GA 100ppm 単用で果房浸漬 処理をする.〕 ・日照不良, 窒素 過多で効果劣る. ・樹勢が強い樹で 効果大. 継: ハウス栽培での 効果確認.
〔マスカット・ オブ・アレキ サンドリア〕	(6)CCO ●Chlor- mequat	液剤	(2-クロロエ チル)-トリメ チル-アンモニ	三 共 日本サイ アナミッド	岡山農試, 広島 果試, 香川農試 府中分場, 福岡	適用性試験 副梢生長抑制(収穫 後の枝管理); 立木	継 継	・経済効果を明らか にする.

作物名	薬剤名 ●種類名 ○商品名	剤型	有効成分および 含有率	委託者名 (会社)	担当場所	試験の種類;処理方法; 処理時期;散布薬量	新緑の別 今回判定	判定理由または内容
(ブドウのつづき) 〔マスカット・ オブ・アレキ サンドリア〕	○サイコセル (つづき)		ウムクロライ ド 46%		園試, 岡山大学	全面散布;収穫後夏 期副梢伸長期; 250, 500, 1 000ppm.		
「アーリー スチューベン」	(7)GA・BA ●ジベレリン・ ベンジルアデ ニン ○(ジベレリン・ ビーエー)	顆粒 または 錠剤と 液剤	ジベレリン顆粒 3.1 % 同 錠 2.78 % N ⁶ -ベンジルア ミノプリン 3%	日本ジベ レリン研 究会 〔クミア イ化学 工業〕	青森畑作園試, 岩手園試, 山梨 果試, 石川砂丘 地農試, 三重伊 賀農センター.	適用性試験 無核化, 熟期促進; 花, 果房浸漬処理; 満開 18,16,14,12 日 前; GA: 100 ppm・ BA: 150 ppm. 〔満 開前 GA・BA. 満開 後 GA のみ〕	継 実	第1回目(仰)処理— 展葉 8~10枚時 GA 100 ppm ・ GA 150 ppm 混 合液 第2回目(後)処理— 満開10日後 GA 100 ppm 液 花果房浸漬処理 注) 県により第1 回目の処理適期 が微妙に異なるの で, 指導機関の 指示に従う.
2. ナ シ 〔日本ナシ〕	(1)KGW-81 ●ジベレリン ○_____	ペー スト	ジベレリン A ₃ など 2.7%	協和醸酵 工 業	秋田果試天王分 場, 茨城園試, 栃木農試, 埼玉 園試, 神奈川園 試, 長野農試 南信地方試, 鳥 取果試, 広島果 試, 佐賀果試.	適用性試験 果実肥大・熟期促進 (KKG-72との比 較); 果梗部(果台 付近)塗布; 満開(授 粉) 30~40 日後; 15~20 mg/果.	新 実・継	実: 〔幸水・八雲・ 長十郎・二十世紀 ・豊水・新水等〕 満開 30~40 日後, 20mg 塗布. 継: (ユズはだにな るなど)品質の検 討.
〔幸水・豊水〕	(2)ACP-68 - 250 ●エチレン剤 ○エスレ 10	液剤	2-クロロエチ ルホスホン酸 10%	2,4-D 協 議 会	福島園試, 埼玉 園試, 長野農試 南信地方試, 新潟園試, 愛知 農試園研.	適用性試験 早期散布による熟期 促進(後期散布との 比較); 立木全面散 布; 果径 30~35 mm 時; 4 000, 5 000倍.	継 実	〔幸水・豊水〕 果径 30~35 mm 時 25 ppm 液 250~ 300 l/10a 立木 全面散布. 注)・再散布(2度か け)はしない. ・ムラなく散布す る. ・展着剤を用いな い.
〔日本ナシ〕	(3)A-365 ●(落果防止 剤) ○_____	液剤	未公開 32.28 g/l	アムケム 日 本	〔二十世紀〕福 島園試, 長野農 試南信地方試, 鳥取果試(栃木 農試). 〔赤ナシ〕埼玉 園試, 福岡園試.	適用性試験 収穫前落果防止; 立 木茎葉処理; 収穫 14, 7, 0 日前; 15, 30 p pm.	新 継	・成分未公開, 効果 の確認.
〔日本ナシ〕	(4)B-995 ●アミノザイド ○ビーナイン 80	水溶 剤	N-(ジメチル アミノ)-スク シンアミド酸 80%	日本曹達	福島園試, 茨城 園試, 千葉農試, 長野農試南信	適用性試験 収穫前落果防止; 立 木茎葉散布; 満開 50	新 継?	・効果不安定.

作物名	薬剤名 ● 種類名 ○ 商品名	剤型	有効成分および 含有率	委託者名 (会社)	担当場所	試験の種類; 処理方法; 処理時期; 散布薬量	新継 の別 今回 判定	判定理由または内容
〔日本ナシ〕	(4)B-995 (つづき)				地方試, 鳥取果 試, (神奈川園 試) .	～ 60 日後, 収穫約 3 週間前; 800, 1 000 ppm.		
〔日本ナシ〕	(5)GR-58 ● (収穫前落 果防止剤) ○ _____	乳剤	未 公 開	兼 商	〔二十世紀〕長 野農総試南信地 方試, 鳥取果試, 〔赤ナシ〕茨城 園試, 埼玉園試, 千葉農試.	適用性試験 収穫前落果防止; 立 木全面散布; 収穫 7, 3, 0 日前(収穫初期); 10, 20, 30 ppm .	新 継	・成分未公開, 効果 の確認. (濃度, 処理時期 の再検討).
〔日本ナシ〕	(6)J-455 ● (収穫前落 果防止剤) ○ フィガロン	乳剤	5-クロロイン ダゾール酢酸エ チルエステル 20%	日産化学 工 業	秋田果試天王分 場, 栃木農試, 千葉農試, 神奈 川園試, 長野農 総試南信地方試, 鳥取果試.	適用性試験 収穫前落果防止; 収 穫始めの 5 日程前; 1 500, 2 000, 3 000 倍.	継 継	・効果の確認, 特に 年次・地域による 効果の変動を明ら かにする.
〔日本ナシ〕	(7)SLG-522 ● (落果防止 剤) ○ _____	液剤	2, 3, 5, 6-テト ラクロロフェニ ル酢酸ナトリウ ム	石原産業	〔二十世紀〕福 島園試, 長野農 総試南信地方試, 鳥取果試. 〔赤ナシ〕埼玉 園試, 神奈川園 試.	適用性試験 収穫前落果防止; 立 木全面散布; 収穫 14, 7, 0 日前; 20, 30, 40 ppm.	新 継	・濃度を高めて効果 確認.
3. カ キ 〔平 核 無〕	(1)ACP-68- 250 ● エチレン剤 ○ エスレル 10	液剤	2-クロロエチ ルホスホン酸 10%	2, 4-D 協 議 会	和歌山果園試紀 北分場.	適用性試験 熟期促進(早期低濃 度散布); 立木全面 散布; 満開 70～80 日後; 0, 10, 20 ppm (200～300 l/10a). 脱渋は CO ₂ 80～100 %.	継 実	・満開 70～80 日後, 10～20 ppm (水 200～300 l/10a) 立木全面散布. ・脱渋は C T S D 脱 渋によること. ・展着剤は使用しな い.
〔早生品種〕	(2)B-995 ● アミノザイド ○ ビーナイン 80	水溶 剤	N-(ジメチル アミノ)ースク シンアミド酸 80%	日本曹達	岐阜農試, 奈良 農試, 和歌山果 園試紀北分場, 福岡園試.	適用性試験 熟期促進; 葉面散布; 満開後 70 日前後; 800, 1 000 倍.	継 実・ 継	実: 〔伊豆〕 満開後 70 日前後, 800～1 000 倍液 (水 200～300 l/ 10a), 立木葉面 散布. 継: その他の品種に ついて再確認. 日 持性・大きさ等品 質の検討.
4. モ モ	(1)B-995 ● アミノザイド ○ ビーナイン 80	同上	同 上	同上	山形園試, 山梨 果試, 愛知農総 試園研, 岡山農 試.	適用性試験 熟期, 着色促進; 立 木葉面散布; 満開約 50 日後; 800, 1 000 倍 (20 l/10a).	継 継	・効果の確認.

作物名	薬剤名 ●種類名 ○商品名	剤型	有効成分および含有率	委託者名 (会社)	担当場所	試験の種類；処理方法； 処理時期；散布薬量	新継 の別 — 今回 判定	判定理由または内容
5. オウトウ (但, 52年 以前)	(1) ACP-68- 250 ●エチレン剤 ○エスレル10	液剤	2クロロエチル ホスホン酸 10%	2,4-D 協 議 会	山形園試.	適用性試験 熟期促進；立木葉面 散布；収穫2〜3週 間前（ナボレオンは 4週間後）；25, 50 ppm.	継 実	・〔佐藤錦〕 摘開3週間後, 50 ppm(水200〜300 ml/10a)立木全 面散布. 〔結果過多の場 合は効果劣る.〕 注) 2度がけはさけ る, 展着剤は使用 しない.

昭和53年度常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和53年度常緑果樹関係委託試験成績検討会
は, 昭和54年2月14日(水), 国立教育会館(東
京都千代田区霞ヶ関3-2-1)において, 試
験場関係者および委託関係者102名参集のもと
に開催された。

当検討会では, 除草剤14薬剤合計60点, 生育
調節剤10薬剤合計63点について, 各試験場担当
者の報告, その質疑応答ならびに慎重な検討が
なされた。

その判定結果は, 次のとおりである。

昭和53年度 常緑果樹用除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定表

A 除 草 剤

薬剤名 ●種類名 ○商品名	剤型	有効成分および含有率	委託者名 (会社)	担当場所	試験の種類；処理方法； 処理時期；散布薬量.	新継 の別 — 今回 判定	判定理由または内容
1. AH-501 ● ○	液 剤	未公開	旭 化 成 工 業	果試興津支場, 山口 大島柑試, 佐賀果試.	適用性(基礎)試験 一年生雑草全般；雑草 茎葉処理；春期および 夏期；15, 30ml/a(5 〜10l)；比較…バラ コート.	新 継	・試験年次不足. ・成分未公開.
2. AH-502 ● ○	水和剤	未公開	同 上	果試興津支場, 山口 大島柑試, 佐賀果試.	適用性(基礎)試験 一年生雑草全般；雑草 茎葉兼土壤処理；春期 および夏期；25, 50g/a	新 継	同 上